

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
1	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	外国語指導助手に要する経費	学校教育課			①外国青年を招致して中学校の外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して、日本と外国の相互理解と国際化を進める。また、外国の文化に触れることを通して、国際社会に生きる児童生徒を育てる。 ②学級担任の教師または、外国語を担当する教師の指導力の育成。小中連携	33,818	31,315	6精査・検証	①教育委員会指導訪問において、小学校で外国語活動の授業展開を必ず実施し、教員及び外国語指導助手の指導力の向上を図った。 ②外国語活動及び外国語の担当教師、外国語指導助手合同の研修会を実施し、さらなる授業改善を図っていく。	35,682
2	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教職員の研修に要する経費	学校教育課			①市内の小中学校の教職員の資質、能力向上と専門性の確立を図るため、研修、研究の支援を行う。 ②研修、研究の内容の精査を図り、授業改善に繋げていく。	807	824	6精査・検証	①研修、研究を充実させるためには、研修会に講師招聘し、質の高い研修、研究を行っていく必要がある。 ②研究指定校以外の小中学校には校内研修会講師招聘にかかる謝礼金を確保する。	1,044
3	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育指導に要する経費	学校教育課			①鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、理科支援員の小学校への配置、心の教育講演会、教育相談員の配置等を行う。 ②学力向上への取組、いじめ防止基本方針の策定	32,753	48,858	6精査・検証	①学力向上に向けた取組が各校で学校全体の取組として表れてきた。分析項目、方法の共通化により、授業改善策の情報交換の内容が充実してきている。 ②理科支援員を小学校に新たに配置し、小学校の理科教育の充実を図っていく。	49,387
4	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	小中学校体育文化活動に要する経費	学校教育課			①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行う。 ②部活動等の指導者の育成。	5,874	6,132	6精査・検証	①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の助成を行う。	5,782
5	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校運営に要する経費	学校教育課	○		①小中学校入学予定者が入学の前年に入学を希望する学校を選択できる学校選択制度を実施する。学校用務員の退職に伴い、民間委託による人員配置を行う。 ②児童生徒の育成環境への取り組みとして、学校における効率的かつ円滑な業務の実施について検討が必要。	17,982	21,312	6精査・検証	①人員補充や業務内容における迅速かつ柔軟な対応、および効率化のため、民間委託化による環境整備が必要であるため。 ②児童生徒の育成環境への取り組みとして、学校における効率的かつ円滑な業務の実施について検討を行う。	21,755
6	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	情報教育に要する経費	学校教育課			①小中学校14校のコンピュータシステムの一括管理 ②平成28年度コンピュータリニューアルに係る準備	99,346	96,431	6精査・検証	①情報教育の向上とともに、校務支援ソフトの活用が定着し、校務の効率化が図れ、児童生徒に向き合う時間の確保に繋がっている。 ②リース契約終了に伴い、小中学校コンピュータリニューアルを行う。	110,320
7	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	少人数教育推進に要する経費	学校教育課	○		①市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員(きり先生)を配置し、きめ細かな学習指導を行う。 ②効果的な少人数指導については日々授業改善を図っていく必要がある。	23,366	23,405	6精査・検証	①学力向上のためにもきめ細やかな指導を行うことは重要で在り、効果的な実施がなされてはいるがさらに指導方法等について向上を図っていく必要があるため。 ②少人数指導の質の向上を図るため、きり先生研修会のみならず各種研修会でも効果的な実施について引き続き指導支援していく。	26,562
8	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校地域支援に要する経費	学校教育課			①市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。学校支援地域本部事業8校実施。 ②ボランティアの公募は、各学校で行っており十分な成果をあげている。教育支援コーディネータの育成。	4,596	5,195	7拡充	①学校支援地域本部事業は、さらに1校増やした。鎌ヶ谷市立中部小学校が文部科学大臣賞を受賞。 ②学校支援地域本部事業の内容の充実を図り、学校と地域ボランティアをつなぐコーディネーターを活用した事業に広がっていく。	5,565
9	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	特別支援教育推進事業	学校教育課	○	○	①市内小中学校に各1名(大規模校2名)特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を配置し、きめ細かな教育支援を行う。 ②対象となる児童生徒一人一人の多様なニーズに応じたきめ細やかな支援・指導のための時間の確保が課題である。	27,379	28,857	7拡充	①特別な支援を要する児童生徒の増加と個々の特性に応じた教育的ニーズの高まりにより、保護者の期待と信頼が大きい。 ②特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修の充実と、心理発達相談員による迅速かつ専門的な指導・助言を行う。	34,837

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
10	一般	10	1	4	132生きる力を育てる義務教育の充実	心身障がい児の教育に要する経費	学校教育課			①学級、学校での安全確保のため、介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のため必要な援助を行う。 ②対象となる児童生徒の増加傾向が続いており、介助員の数の確保と各学校・保護者との調整が課題である。	49,934	54,666	7拡充	①インクルーシブ教育システムの構築に向け、個々の多様なニーズへの柔軟で適切な支援・対応が求められるため。 ②様々なケースに対応するうえで、合理的配慮による介助員の増員及び人材の確保、また施設面での充実をきめ細かに図る。	58,256
11	一般	10	2	2	133児童・生徒の健康と安全の確保	要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			①経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助を行う。 ②経済的困窮による就学困難な児童生徒が義務教育を受ける機会を均等にするため、今後も継続的な実施が必要である。	42,325	41,705	6精査・検証	①義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を行う必要があるため。 ②来年度以降の認定基準額について、今後、国の生保基準の見直しに伴う通知等に基づき、検討し決定する。	48,605
12	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校保健事務に要する経費	学校教育課			①児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症の予防等を実施する。 ②検診項目の追加等による経費の増加や医師の確保が課題である。	32,916	32,552	6精査・検証	①健康診断等の実施方法や書式について、現状を鑑み、検討を行う必要があるため。 ②特に新たに追加された検診について、実施方法や経費等について検討する。	38,071
13	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校安全事務に要する経費	学校教育課			①日本スポーツ振興センターとの契約により、学校管理下における児童生徒等の災害に対して、給付を行う。 ②児童生徒の保護者へは、学校の管理下における災害については、子ども医療費助成制度ではなく日本スポーツ振興センターを優先するよう周知徹底を行う必要がある。	9,821	9,962	6精査・検証	①児童生徒が安全な学校生活を送る上で、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を行う必要があるため。 ②各学校の養護教諭としっかり連携。学校から提出される申請について、システムを基に迅速に処理する。	10,085
14	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路整備事業	学校教育課	○	○	①通学路安全対策推進行動計画に基づき、安全施設の整備等を行う。 ②信号機設置や歩道拡幅の要望の割合が高いが、設置できないケースも多く、代替的な対策で対応せざるを得ない。	19,965	14,788	6精査・検証	①学校やPTAからは毎年要望を受けているので、予算や優先順位を考慮して、順次工事を実施し、中長期的な工事も行っているため。 ②27年度の学校やPTAの要望に基づき、安全対策事業を行い、自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。	15,000
15	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	○	○	①市内の通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロールを及び下校時の見守りを行う。 ②下校時間帯の不審者情報も多く見られ、学校や青少年センターとも連携して、迅速に対応していく必要がある。	15,955	15,240	6精査・検証	①児童生徒の下校時の安全を確保するために、継続的に実施していく事業であり、臨機応変に対応できるパトロール体制を維持していく必要があるため。 ②学校や青少年センターと連携し、指定通学路に限らず、人気のない箇所等市内全域を巡回する。また、不審者情報等にも迅速に対応していく。	17,849
16	一般	10	5	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	旧学校給食センター管理に要する経費	学校教育課			①旧学校給食センターの適正な維持・管理 ②施設内に残る廃棄物の適正な処理	15,468	4,354	4縮小	①旧センターの備品の利活用を学校・庁内に呼びかけたことにより、備品整理が進んだ。 ②今後の跡地利用に向けて、廃棄物の適正処理を行っていく。	965
17	一般	10	5	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校給食運営に要する経費	学校教育課	○		①市内小中学校14校に対し、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。 ②PFI事業契約に基づき事業者と連携を密にし安全安心な学校給食の提供を維持するとともに、学校給食センター施設の活用による食育の推進への取り組みを行う。	843,608	850,886	7拡充	①見学対応やセンター紹介展示等による学校給食センターの見える化の取り組みを実施し充実を図ったが、更に取り組みを進めていく必要があるため。 ②学校給食センターにおける食育の更なる充実と平成29年度に向けた食物アレルギー対応第2段階への準備期間として学校と協議し進めていく。	853,197